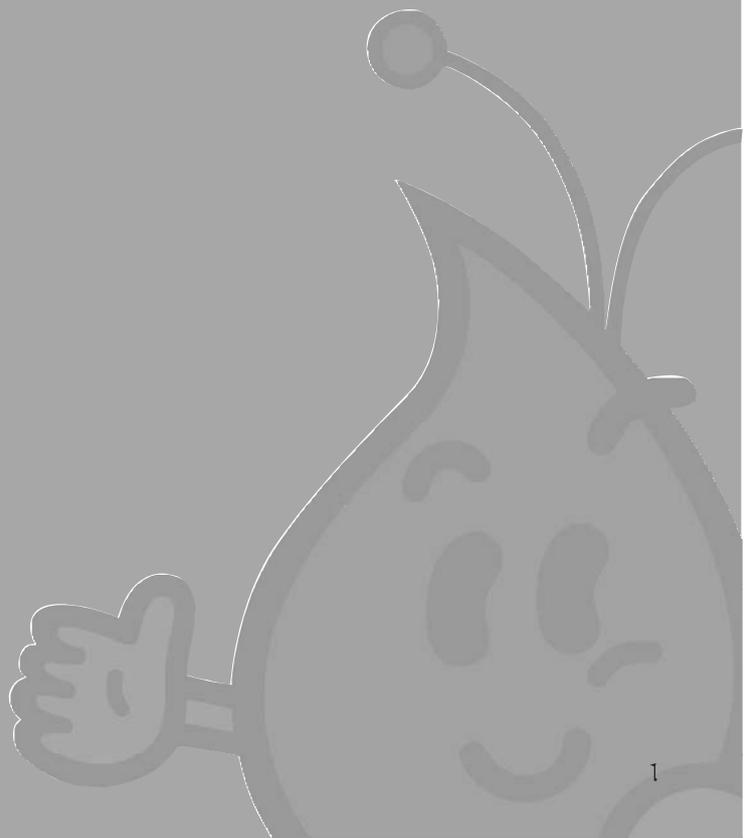




札幌市の下水道のあゆみ



1. 札幌市の下水道整備の変遷

札幌市の下水道事業は、大正15年に市街地の雨水排除を主な目的として本格的に始まり、戦後の急激な人口の増加に伴う生活環境の悪化や河川汚濁の進行を背景に、昭和30年代前半から、汚水処理を含めた下水道の拡張整備が進められました。

その後、昭和47年の冬季オリンピック開催に向けて積極的な整備が進められ、平成21年度末で下水道普及率は99.7%に達し、ほとんどの市民が下水道を利用できる状況となっています。近年では、下水熱を活用した雪対策や高度処理水によるせせらぎの回復など、下水道資源の有効利用等も進めています。

これまでに築き上げた良好な生活環境や社会基盤施設を、次の世代へ引き継いでいくため、今後の下水道事業は、昭和40年代から昭和50年代にかけて集中的に整備した施設の大規模改築や地球環境問題への対応など、限られた財源の中で多くの課題に取り組んでいかなければなりません。

浸水の防除 安全に暮らすために

大正15年(1926年)

札幌市の下水道事業開始

市街地の雨水排除を主な目的として、札幌市の下水道事業が始まりました。

生活環境の改善 衛生的で快適なまちに

昭和32年(1957年)

下水道整備の拡張

戦後の急激な人口の増加とともに生活環境の悪化が進むことから、治水知識を蓄えた下水道の整備に取り組みました。

公共用水域の水質保全 豊かな自然環境のために

昭和42年(1967年)

創成川水再生プラザの運転開始

河川の水質改善を目指し、下水処理場の整備・運転を開始しました。

下水道資源の有効利用 再生資源の利用を目指して

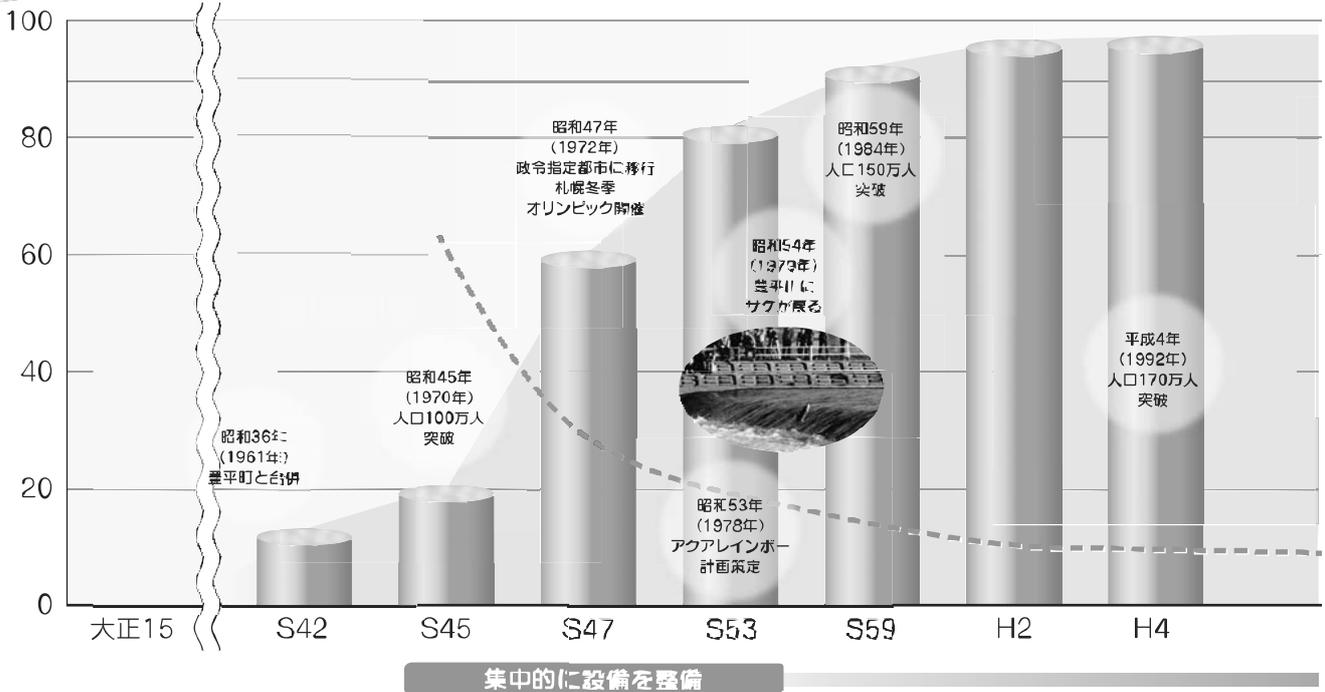
昭和59年(1984年)

下水汚泥・焼却灰の有効利用

平成2年(1990年)

下水熱を利用した雪対策

下水道普及率(%)



集中的に設備を整備



下水道普及率(%)

----- 河川水質(BOD:汚れの度合い)

次世代につなぐ

地球温暖化対策

低炭素都市の実現のために

大更新時代の到来

安全・安心な生活を維持するために

**高度処理の導入・
合流式下水道の改善**
清らかな水環境の保全・創出に向けて

平成3年(1991年)

より高度な下水処理

河川へ放流する、水処理水管の向上により、水環境が大きく改善された

平成4年(1992年)

高度処理水によるせせらぎの回復

札幌市下水道ビジョン 2020

～良好な「くらし」「環境」「資産と技術」を次世代につなぐために～

くらし

下水道施設の改築・再構築

環境

地球温暖化対策
合流式下水道の改善

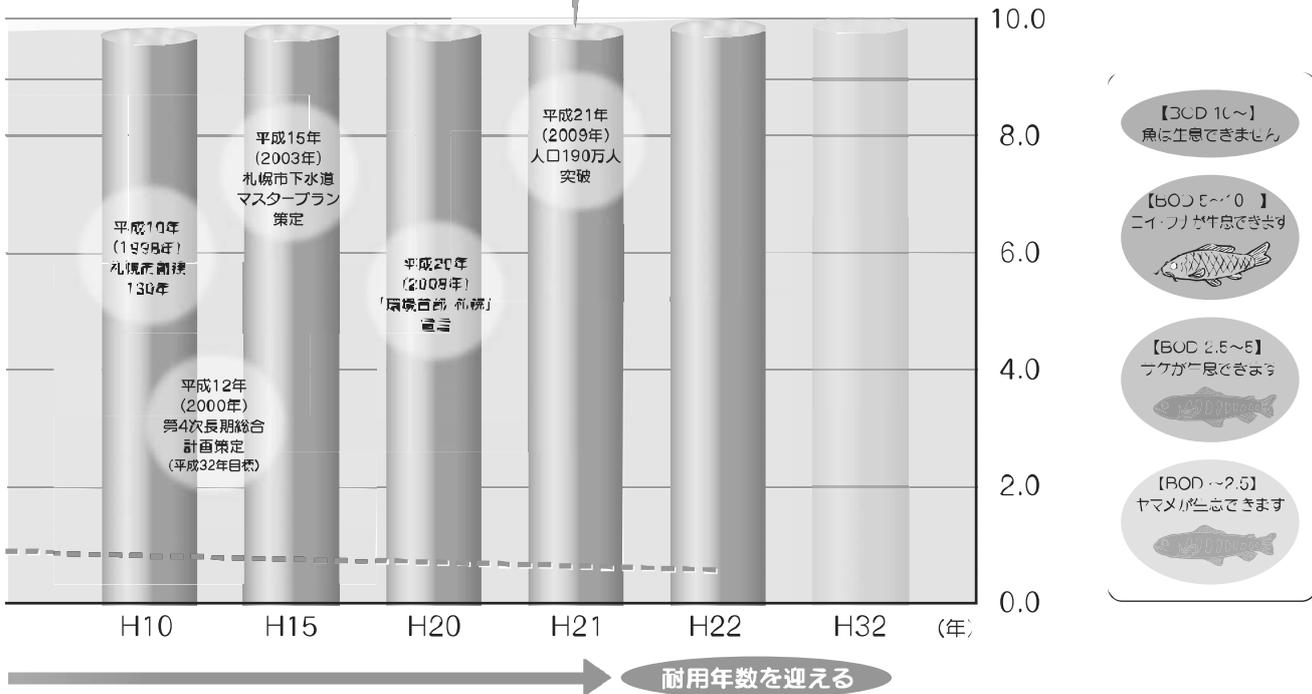
資産と技術

人材の育成
財務体質の強化



下水道普及率 99.7% (平成21年度末)

河川水質BOD (mg/L)



耐用年数を迎える